

3月29日開催第15回『新しい資本主義実現会議』提出資料

東京大学 柳川範之

「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」フォローアップにおける
重点課題は、

能力向上支援、職務給の確立、円滑な労働移動、という

三位一体の労働市場改革を、働く人の立場に立って進めること

特に円滑な労働移動を推進していく必要がある

そうでないと、それぞれの活躍場所が十分に得られず
成長にも、自己実現にも、社会的課題にもつながらない

賃金を引き上げ、分配面を強化するうえでも

スタートアップの起業を加速するうえでも

社会的課題を解決する経済社会システムの構築のためにも

円滑な労働移動が不可欠

その理由は、適材適所が社内であり続けるとは限らないから

**どんな年代、どんな立場の人にとっても、本人にとって成長の機会になる、より
適材適所の働き場所を見つけられる体制づくりが必要**

そのためには、より円滑な労働移動を可能にするような、

個人を対象とした能力向上支援

お試し兼業、お試し副業支援

移動しやすくするための、職務内容の明確化 の推進は不可欠

そのためのインセンティブ設計・環境整備をすべき

これは社内における人材の活性化にもつながる